

# KANSAI ウォーク 2023

梅小路公園 芝生広場から空海、  
親鸞、徳川家康ゆかりの  
地を歩くコース

## 第1回大会 京都エリア

- スペシャルコース (約13km)
- ファミリーコース (約8km)

コース監修：北川 央 (九度山・真田ミュージアム名誉館長)

- スペシャルコース
- ファミリーコース

…誘導スタッフ

1km S ... スタートからのおおよその距離

1km G ... ゴールまでのおおよその距離

…ファミリーマート

…ローソン

…セブンイレブン

大会途中で棄権したり、  
救護を要する時は…

大会本部 (Central Site)  
救護 (First Aid)

TEL 080-8506-5200

この電話は大会当日のみ有効です

コース上の寺院・神社へおまいりされない方は、  
境内に入らず前をお通りください



### スペシャルコース (約13km)

- 1 梅小路公園 芝生広場 → 2 西本願寺唐門 → 3 興正寺 → 4 西本願寺 → 5 龍谷大学龍谷ミュージアム → 6 瑞雲院・小早川秀秋墓 → 7 本能寺跡 → 8 空也堂極楽院 → 9 二条陣屋 → 10 神泉苑 → 11 二条城 → 12 京都所司代上屋敷跡 → 13 妙顕寺城跡 → 14 高松神明神社 → 15 六角堂頂法寺 → 16 佛光寺 → 17 上徳寺・徳川家康側室阿茶の局墓 → 18 蓮光寺・長宗我部盛親墓 → 19 涉成園 → 20 東本願寺 → 21 綜芸種智院跡 → 22 東寺 → 1 梅小路公園 芝生広場

### ファミリーコース (約8km)

- 1 梅小路公園 芝生広場 → 2 西本願寺唐門 → 3 興正寺 → 4 西本願寺 → 5 龍谷大学龍谷ミュージアム → 6 瑞雲院・小早川秀秋墓 → 16 佛光寺 → 17 上徳寺・徳川家康側室阿茶の局墓 → 18 蓮光寺・長宗我部盛親墓 → 19 涉成園 → 20 東本願寺 → 21 綜芸種智院跡 → 22 東寺 → 1 梅小路公園 芝生広場

## 1. 梅小路公園 芝生広場



JR 京都駅から徒歩 15 分とアクセスが便利な地にある都会のオアシス。開園は平成 7 年（1995）。面積は約 13.7 ヘクタールを誇る。園内には水と親しめる「河原遊び場」、イベント会場として使用される「七条入口広場」、建都 1200 年を記念して創設された日本庭園「朱雀の庭」、京都市電として初めて導入された車両が走る「チンチン電車」などがある。平成 24 年には「京都水族館」、平成 28 年には「京都鉄道博物館」もオープンした。公園は災害時の避難場所に指定されている。

## 6. 瑞雲院・小早川秀秋墓



日蓮宗大本山・本願寺の元塔頭。慶長 7 年（1602）日求（にちもと）が小早川秀秋を弔うため、玉陽院を改め、開創したと伝えられる。関ヶ原の戦いで石田三成方の西軍を裏切り、徳川家康率いる東軍を大勝利に導いた立役者の秀秋は、21 歳の若さで生涯を閉じた。その秀秋の祭祀料として、家康が寺領 100 石を与えたことに因み、「百石寺」とも呼ばれる。塗籠（ぬりごめ）の御堂の厨子内に秀秋の木像が祀られ、墓所には秀秋の墓がある。

## 11. 二条城



慶長 8 年（1603）徳川家康が、京都御所の守護と將軍上洛の際の宿泊所として築城した。慶長 16 年 3 月 28 日には、徳川家康と豊臣秀頼の会見が行われた。3 代將軍家光の時代、後水尾天皇の行幸に向けて大改修が行われ、寛永 3 年（1626）に現在の規模となった。二の丸御殿は国宝、唐門・本丸御殿など、多くの建物が重要文化財に指定され、二の丸庭園は特別名勝となっている。二の丸御殿では、慶応 3 年（1867）に 15 代將軍徳川慶喜が大政奉還を表明した。

## 16. 佛光寺



真宗佛光寺派の本山。越後に流罪となった親鸞聖人は、建暦元年（1211）に赦免され、翌年に京都へ戻って、山科の地に草庵を結んだと伝えられる。この草庵が佛光寺の起源とされる。元応 2 年（1320）、第 7 世の了源上人が寺基を山科から今比叡汁谷（現在の京都国立博物館あたり）に移し、天正 14 年（1586）には豊臣秀吉の懇請により五条坊門の現寺地へ移った。

## 21. 綜芸種智院跡



弘法大師空海（774-835）が天長 5 年（828）に庶民の教育施設として、藤原三守（785-840）の九条邸に開いた学校。身分上、大学や国学に入れない者のために内外典（仏書・儒書）を講じて種智（仏道・真理を極めようとする心）への到達を目指した。承和 2 年（835）空海没後は後継者がなく、衰退して廃止となった。明治 14 年（1881）、種智院大学はその伝統を受け継ぎ設立された。

## 2. 西本願寺唐門



西本願寺の唐門は桃山時代の建造物で、檜皮葺（ひのわだか）き、唐破風（からはふ）の四脚門。国宝に指定され、高さ 8.7 メートル、幅約 5.4 メートル。唐獅子や虎、孔雀など、豪華な彫刻が施され、その見事さに日の暮れるのを忘れることから「日暮らし門」とも呼ばれる。平成 30 年（2018）から 3 年かけて修復工事を行い、檜皮の屋根を葺き替え、門全体の黒漆も塗りかえて、鮮やかに甦った。

## 7. 本能寺跡



本能寺は日蓮大聖人を宗祖とする法華宗本門流の大本山で、現在は寺町御池にあるが、天正 10 年（1582）6 月 2 日に明智光秀が主君織田信長を襲った本能寺の変のときに、堀川四条に近いこの地に本能寺があった。東西 150 メートル、南北 300 メートルの広大な寺域を誇り、信長は上洛の際、しばしば本能寺を宿所として利用した。

## 12. 京都所司代上屋敷跡



所司代とは、室町幕府の役職で、侍所（さむらいどころ）を統率する所司の代官。のちには京都の治安を管轄する地位となり、徳川幕府にも受け継がれた。天皇家、公家の監視、畿内近国 8ヶ国の訴訟処理といった強い権限を持ち、幕府では老中に次ぐ重要な役職。文久 2 年（1862）に京都守護職が設けられると、その管轄下に入り、王政復古によって廃止された。屋敷跡にはわが国最初の中学校である京都府立京都第一中学校（現在の洛北高校）が建てられた。

## 17. 上徳寺・徳川家康側室阿茶の局墓



浄土宗の寺院で、慶長 8 年（1603）徳川家康の側室阿茶局（上徳院）が開基となり、伝言蘇生（でんごんそせい）上人を招いて建立したと伝えられる。墓地には阿茶局の墓がある。現在の諸堂は明治時代に再建されたもので、本堂は宝暦 3 年（1753）建立の永観堂（禪林寺）祖師堂を移築したもの。地藏堂は明治 4 年（1871）に再建され、高さ 2 メートル余の石地藏を安置している。

## 22. 東寺（教王護国寺）



東寺真言宗の総本山で、「教王護国寺（きょうおうこくご）とも呼ばれる。延暦 13 年（794）桓武天皇は平安京に遷都し、その 2 年後、延暦 15 年に、国家鎮護のため羅城門の東に官寺として創建された。弘仁 14 年（823）、嵯峨天皇から空海に下賜され、真言密教の根本道場となった。平安時代以来の寺地に 14 世紀から 17 世紀の建造物が現存する。講堂（重要文化財）には大日如来（重要文化財）を中心に「立体曼荼羅」と呼ばれる 21 体の仏像が安置される。金堂（国宝）は豊臣秀吉の再建。御影堂（国宝）は空海の住房で、弘法大師像（国宝）が安置される。五重塔（国宝）は 3 代將軍徳川家光の再建で、高さは 55 メートルは日本一。宝物館には真言密教の文化財を多数所蔵する。世界文化遺産。

## 3. 興正寺



親鸞聖人を宗祖とする真宗興正派の本山。鎌倉時代に創建され、「興正寺」という寺号は順徳天皇（1197-1242）によって名付けられたと伝えられており、「正しき法を興し、さかえさす」との願いが込められている。第 7 世了源上人の時代に寺号を「佛光寺」と改めたが、室町時代の第 14 世経家（運教）上人は本願寺の蓮如上人に帰依し、「興正寺」を再興して本願寺の蓮如に、佛光寺は弟の経誉上人が継承した。天正 19 年（1591）、興正寺は本願寺（西本願寺）とともに京都・堀川七条の現在地に寺基を移した。

## 8. 空也堂極楽院



空也上人像を本尊とするため、一般に「空也堂」と呼ばれるが、正しくは「紫雲山光勝寺極楽院」という。天台宗の寺で、天慶 2 年（939）に空也上人が開創したと伝えられる。元々は三条御簾（三条大宮の西）にあり、「御簾道場」「市中道場」とも呼ばれた。応仁の乱で焼亡したが、寛永年間（1624-44）に現在地に再建された。現在の建物は給御門の変で被災した後の慶応 2 年（1866）に再建された。毎年 11 月第 2 日曜日に、空也上人を偲んで「開山忌（空也忌）」の法要が営まれ、王服（おうふく）茶の献茶式のあと、空也僧による歓喜勇躍（かんぎゆうやく）念仏と国の重要無形民俗文化財に指定される六斎（ろくさい）念仏焼香式が奉修される。

## 13. 妙顕寺城跡



妙顕寺は日蓮宗の大本山で、元亨元年（1321）日像（にちざう）が建立した京都最初の日蓮宗寺院。現在は上京区の妙顕寺前町にあるが、戦国時代にはこの地にあり、天正 11 年（1583）9 月、豊臣秀吉が妙顕寺を移転させ、城を築いた。天正 14 年（1586）に聚楽第を造営するまで、妙顕寺城が秀吉の京都における政庁であった。築城当初は周囲に堀をめぐらし、天守も建てられていたという。城の痕跡はまったく留めないが、「豊臣秀吉妙顕寺城跡」という石標と「古城町」という町名が当時を偲ぶよすがとなっている。

## 18. 蓮光寺・長宗我部盛親墓



浄土宗の寺院で、本尊は「負別如来（おひわけにょらい）」と呼ばれる阿弥陀如来。快慶作と伝えられる。地藏堂に安置されている地藏菩薩像は「駒止（こまどめ）地藏」と呼ばれ、弘法大師空海の作とされる。元来は六条河原の刑場に祀られていたと伝えられる。境内には、もと土佐一國の太守で、大坂の陣では真田幸村・後藤又兵衛などととも豊田方の「大坂五人衆」の一人に数えられた戦国武将長宗我部盛親の墓がある。

## 4. 西本願寺



親鸞聖人を宗祖とする浄土真宗本願寺派の本山。文永 9 年（1272）親鸞聖人の末娘覚信尼が京都・東山大谷に建てた廟堂に始まる。第 3 世覚如上人のときに「本願寺」を公称。第 8 世蓮如上人の時代に大教団へと発展したが、第 11 世蓮如上人の大坂（石山）本願寺の時代に、織田信長と 10 年にわたって「石山合戦」を戦い、戦後、紀州鷲森（和歌山市）、貝塚（大阪府貝塚市）、天満（大阪市北区）を転々としたが、天正 19 年（1591）豊臣秀吉が寺地を寄進して、現在地に移った。慶長 7 年（1602）本願寺は東西に分立し、今に至る。平成 6 年（1994）に「古都京都の文化財」の一つとして世界文化遺産に登録された。

## 9. 二条陣屋



二条城の近くに建つ町家で、江戸時代後期の建築。米・両替商を営んでいた萬屋平右衛門の店舗兼住居で、周辺には京都所司代屋敷、京都の東西町奉行所が軒を連ねていた。裁判を待つ武士らが滞在したり、参勤交代で京都に立ち寄った大名の宿泊所として、「陣屋」の役割も担っていた。「武者隠し」「吊り階段」「隠し階段」「猿梯子」など、奇異に備えたからくりの仕掛けが随所に施されている。国指定重要文化財。

## 14. 高松神明神社



醍醐天皇の皇子・高明親王が 7 歳の時、源朝臣の姓を賜り、一条一坊（京都市左京区）に源高明（914-982）として高松殿を造営したことに始まる。その後、後白河天皇がこの地で即位し、御所（里内裏）とした。平治の乱で焼失するが、邸内に祀られていた鎮守の高松神明神社は現存する。祭神は天照大神、八幡大神、春日大神。境内に祀られる神明地蔵尊は、紀州九度山（和歌山県九度山町）の善名称院（真田庵）に祀られていた真田幸村の念仏持で、寛政 6 年（1794）に宥玉法印が拝領し、当社境内に祀ったと伝えられる。

## 19. 涉成園



東本願寺（真宗本願）の庭園。周囲に枳殻（からたち）が植えてあったことから枳殻（きこく）邸と呼ばれる。平安時代初期、嵯峨天皇の皇子左大臣源融（みなもとのおとむら）が営んだ六条河原院の跡地と伝えられる。寛永 18 年（1641）3 代將軍徳川家光が東本願寺に土地を寄進し、第 13 世覚如上人と親交のあった石川丈山が作庭した。池泉回遊式の庭園で、広大な印月池を中心に風雅な書院や茶室が配される。国の史跡に指定され、春は梅や桜、夏は菖蒲や睡蓮、秋は紅葉と四季折々の風情が楽しめる。

## 5. 西本願寺龍谷大学龍谷ミュージアム



西本願寺の向かいにある、特定の宗派に限定しない仏教の総合博物館。積尊（ツグミ）の生涯に始まり、インドからアジア各地への仏教の広がり、そして日本への仏教の展開を分かりやすく紹介する。中国・新疆ウイグル自治区トルファン郊外にあるベゼクリク石窟寺院を常時、原寸大復元展示するほか、特定テーマの特別展・企画展も随時開催している。

## 10. 神泉苑



平安京造営の際、宮中附属の禁苑として造営された。大内裏の南東隣に位置し、南北 4 町東西 2 町の規模を有した。歴代天皇が幸幸して歌や花、音楽を楽しんだ。天長元年（824）、日本で日照りが続いた際には、清和天皇の勅命により弘法大師空海が祈雨の修法を行った。貞観 5 年（863）に疫病が流行した際には朝廷が御霊会を行い、同 11 年には度重なる災害が相次ぐ中、国の数に相当する 66 本の鈴を立て、祇園社（八坂神社）から神泉苑に御霊を送り、厄払いをした。これがのちに祇園祭へと発展した。

## 15. 六角堂頂法寺



正式名称は「紫雲山頂法寺」。本堂が六角形を成していることから「六角堂」と通称される。聖徳太子が用明天皇 2 年（587）に建立したと伝える古刹で、西国三十三ヶ所観音霊場の第 18 番札所。本尊は如意輪観世音菩薩。浄土真宗の宗祖親鸞聖人が、29 歳のときに比叡山を下りて六角堂に 100 日間参籠し、95 日目に聖徳太子の夢告（むごう）があり、法然上人に入門したと伝えられる。六角堂の住職は華道家元の池坊が務め、いけばな発祥の地としても知られる。華道関係の資料が展示される、いけばな資料館が見学できる。本堂前には京都の中心とされる「へそ石」がある。

## 20. 東本願寺



真宗大谷派の本山。慶長 7 年（1602）第 12 世教如上人が徳川家康からこの地の寄進を受けて建立した。御影堂門は木造の二重門としては日本一の高さを誇り、これをくぐると御影堂と阿弥陀堂が並んでそびえ立つ。御影堂は正面 76 メートル、側面 58 メートル、高さ 38 メートルの規模をもつ世界最大級の木造建築で、重要文化財に指定され、室内には宗祖親鸞聖人の木像が安置される。御影堂の南側に建つのが本堂の阿弥陀堂で、やはり重要文化財に指定され、室内には本尊の阿弥陀如来が安置されている。

大会途中で棄権したり、救護を要する時は…

**+** **?** 大会本部（Central Site）  
救護（First Aid）

**TEL 080-8506-5200** この電話は大会  
当日のみ有効です

主催 産経新聞社 特別協賛 **LION** 今日を愛する。

協力 大阪府ウオーキング協会  
スーパースポーツゼビオ

第 1 回大会後援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会  
(公社) 京都府観光連盟、(公社) 京都市観光協会

全大会後援 歴史街道推進協議会

企画運営 株式会社ムーヴエンタテインメント

**KANSAI**  
か っ さ い  
**ウオーク**  
2023

梅小路公園 芝生広場から空海、  
親鸞、徳川家康ゆかりの  
地を歩くコース

【解説監修】  
北川央  
(九度山・真田ミュージアム名誉館長)